

(解答例)

【課題 1】

- ・(どちらの国) ブラジル
- ・(理由) ブラジルの面積がとても大きい。 (「1年間に降るすべての水の量」は、年平均降水量に面積をかけて計算するので、日本とブラジルの年平均降水量がほぼ同じであることにより、面積を比較すると、ブラジルの面積が大きい)

【課題 2】

- ・ニュージーランドは年平均降水量、蒸発する割合、面積がほぼ日本と同じだが、人口が少ないため「一人の人が使える水の量」は日本より多くなる。
- ・カナダは、年平均降水量は日本に比べて少ないが、面積が広い。必然的にカナダに降る水の量は多くなる。蒸発する割合は日本より多いが、人口が日本より少ないため、「一人の人が使える水の量」は日本よりも多くなる。

【課題 3】

- ・(読み取とれること) 畑がなくなり、住宅やビルが建てられ、^{ちゅうしゃじょう} 駐車場などになっている。
- ・(変化) 生活用水の使用が増加したと考えられる。
(畑だったところに住宅やビル、駐車場が作られたことに加え、資料③より、町の人口も増えた。そのため農業用水は使われなくなり、代わって生活用水の使用が増えたと考えられる)

【課題 4】

- ・身体や髪を洗うため、料理の煮炊きのため、お鍋や食器を洗うため、トイレを流すため、庭の木や花の水やりのためなど。
- ・(共通点) 使われている水のほとんどが、身のまわりを清潔に保つ (洗い流す) ために使われている。

【課題 5】

- ・人口が減ってしまうと、水道を使う人も減ってしまう。「水をつくる」ことや「水を運ぶ」ための費用は、水道を使う私たちが負担しているので、使う人が減ると、一人あたりが負担する水道料金が高くなってしまいます。またそれでも足りない分は税金で負担することになるので、結果的に私たちの負担がさらに増えることになる。

【発展】 試問室での新たな問い

- ・再生水は、水を使っているすぐ近くで再生・処理をし、すぐ近くで使用できる。つまり水を運ぶための長い水道管が必要ないため、その費用を安く抑えることができる。人口が減少すると水道料金の負担が増えと予想できるため「再生水」はこれからの「新しい水」の1つとして考えることができる。

【発展】 試問室での新たな問い

- ・日本では、再生水は、浄化処理されていても水道水ほどきれいではないため、水道水と同じ

ように飲んだり、身体に触れたりする目的には使うことができない。水道水と同じくらいきれいに処理すれば、水道水と同じようにいろいろな目的で使うことができる。

(この答えは出題の意図からは離^{はな}れているが、正解ではある。このような答えが出た場合は、これ以外に課題はないかとの問いを行い、解答に導く)

- 私たちが、再生水を（水道水のように、「飲む」「洗う」ために）使うためには、「ためらい」があり、その意識を変える必要がある。